

## はじめに ～建築設計を取り巻く状況～

国土交通省の統計資料によると平成25年度新設住宅着工戸数は987,254戸で前年比10.6%でした。しかしながら平成元年度着工戸数1,672,783戸と比べると約59%であり、100万戸の大台を割り込んだままです。また近畿圏の着工戸数は148,618戸であり、日本全体の15%程度、大阪府の着工戸数は68,806戸約7%程度のシェアを占めています。ちなみに首都圏は337,699戸約34%と近畿圏の2倍強と大きく上回っています。また少子高齢化が進み、人口減少社会が現実のものとなりつつある中、総務省の

統計資料では総住宅数が総世帯数を上回り、特に新築住宅が必要でない時代となっています。

このような中、当社は既存建物の外壁改修・屋上防水改修・建具改修などの各種改修（リニューアル）設計、耐震診断・耐震改修設計や既存建築物の調査・点検・定期報告業務などに注力し業務を拡大しています。

今後は、空き家点検業務、建築物の減築設計、既存マンションのアドバイザー業務など社会の動向を見ながら様々な業務に取り組む予定です。 阿部 弘明



## 万博記念公園での業務

地元吹田市で行った業務として万博記念公園での業務を紹介させていただきます。広大で緑や花にあふれ、散策に訪れるだけでも気持ちの良い公園です。

近々、太陽の塔も改修されるようです。(残念ながら当社の設計ではありませんが…〈笑〉)休日に足を運んでみてはいかがでしょうか。入場料は250円です。

### 万博公園「夢の池」噴水塔改修工事設計 H22.8月

夢の池に「夢の池」にそびえ立つ噴水塔の改修工事です。「宇宙空間の夢」と称された「彗星」や「星雲」と名付けられた9基の噴水塔は、1970年の大阪万博の際に彫刻家のイサムノグチによって設計されました。老朽化し現在は使われていない噴水機能を撤去し、オブジェとしてリニューアルさせる計画です。塗装色等改修内容に関してはイサム・ノグチ事務所の協力をいただきました。夕日の落ちる「夢の池」の景色は壮大です。



### 東の広場便所新築工事設計監理業務 H25.3月

東の広場という広大な芝生広場の一角にトイレを新築しました。利用状況改善のため、ベビーカーと一緒に利用できる広い女性トイレ、子供用トイレを計画しました。耐久性に配慮し、鉄筋コンクリート造と鉄骨造を併用しました。臭気がこもらないように、壁の上部を開放しています。そこからは緑の木漏れ日も入ってきます。素晴らしいロケーションとの調和に配慮して、自然な風合い、やさしい色調の設計としています。

正面のサインの地模様は万国博覧会EXPO70のシンボルマークです。

南 正憲

## 御堂筋イルミネーション詳細設計業務 平成22年度・26年度

大阪のシンボルである御堂筋のイチョウ並木をイルミネーションで装飾する「御堂筋イルミネーション」の詳細設計業務です。大阪全体の活性化を図るため、平成25年度から、府・市・経済界が一体となって、「大阪・光の饗宴」を実施しています。当社は、平成22年及び平成26年度のイルミネーション設計及び監理を担当しています。12月になると夜の御堂筋を美しく彩ります。ぜひ見に来てください。

谷口 秀明



## 耐震改修について

今回は耐震診断・耐震改修設計業務を紹介します。

耐震診断・耐震改修設計は、1980年以前に建設された『旧耐震基準』の建物を対象に耐震診断を行い、耐震診断基準を下回った建物に対し、耐震補強計画を立て、耐震診断基準を上回る建物となるように耐震改修設計を行います。これまでは主に庁舎・学校などの公共建築や銀行、病院、ホテル等の公共性の高い建物に対して耐震改修を進めてきました。今後は、オフィスビル・マンションなどの一般民間建物についても耐震診断・改修設計を進めていくこととなります。

耐震補強計画では、構造強度不足を補うだけでなく、建物機能改善や施工性、デザイン性等も考慮し補強方法や補強位置を決めていく必要があります。既存建物に構造補強部材を取り付けるため、どうしても使い勝手が悪くなる中、耐震強度増強以外のメリット

創出が耐震改修設計の勘所です。

当社では庁舎、学校校舎、体育館、共同住宅などの耐震診断、耐震改修設計、そして耐震工事監理業務を手がけています。

今、私が担当している約400戸の共同住宅耐震工事監理業務では、2年がかり工事の折り返し点を迎えたところ です。

今年多い台風や暴風雨に心配しながらも予定通り竣工を目指しています。

坂尾 圭亮



監理業務進行中の某案件

## セミナー「わかる！大規模修繕の進め方～管理組合の心構え」を終えて

去る7月27日に大阪市マンション管理支援機構主催の分譲マンション管理組向けセミナーが開催され、講師を務めました。80名を越えるマンションの理事の方にご参加いただき、大変熱心に私の拙いお話に耳を傾けていただきました。

近年、大規模修繕に関するセミナーが非常に多く開催されていますが、管理組合の方に専門的な技術情報を提供する内容が多く違和感があり、今回のセミナー



では「賢いクライアント(発注者)になろう!」をキーワードに管理組合としての心構えを中心にお話しました。

複雑で難しそうな工事を準備から実施、さらにアフターま

で、いかに[専門家=設計事務所]を上手に活用し、管理組合の負担を減らしながら進めていくためのノウハウをお伝えできたかと思えます。

パートナーとなる設計事務所の探し方や専門家と管理組合の役割分担などについては参加いただいた方も大変関心を持っていたようです。フローからストックの社会に移行した現代においてのマンション再生は建物(ハード)だけでなく、ソフト(人)にも専門家によるサポートも必要とされています。

私たちが事務所を構える吹田にも千里ニュータウンがあり、50年を超える高経年マンション(団地)も数多いのですが、建物の維持だけでなく運営する人についての課題も多く存在します。これからは私たち設計者も[建物]だけでなくそこに住む[人]とも、きちんと関わることが必要だと考えております。 桑原 宏明

一級建築士事務所  
株式会社 空間デザイン

〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3丁目29-2-406  
TEL 06-6192-8751 / FAX 06-6192-8752  
E-mail info@sd-arc.jp / URL http://sd-arc.jp

地下鉄御堂筋線『江坂駅』北口下車。東に徒歩5分。  
大同生命ビルを通り抜け、そのまま江坂公園を通り抜けてください。

